

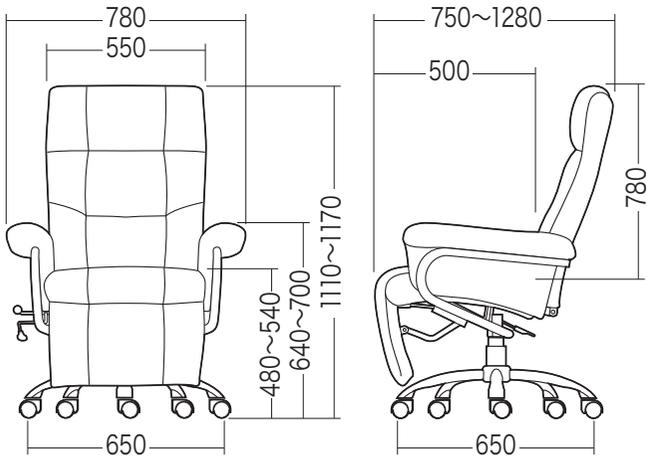
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このリクライニングチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

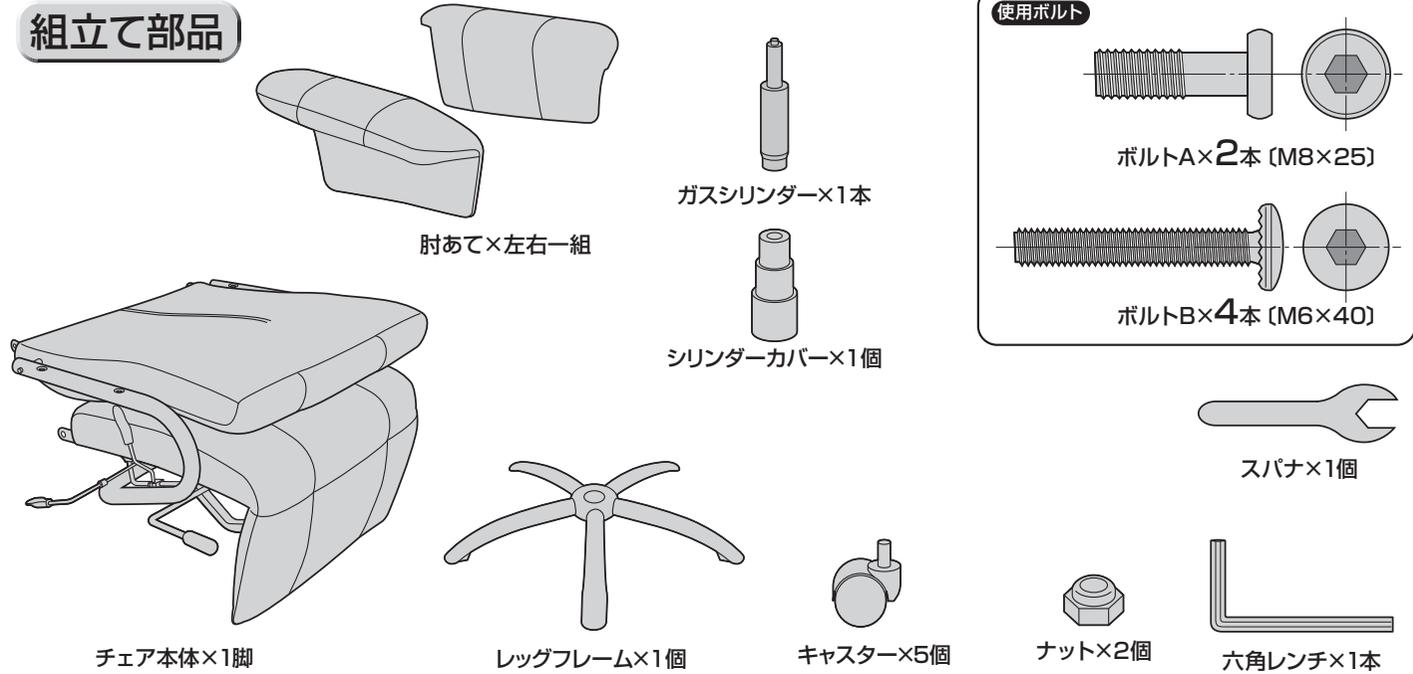
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

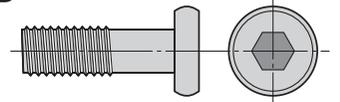
完成図



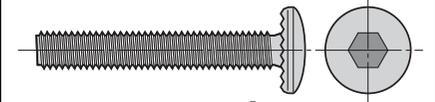
組立て部品



使用ボルト

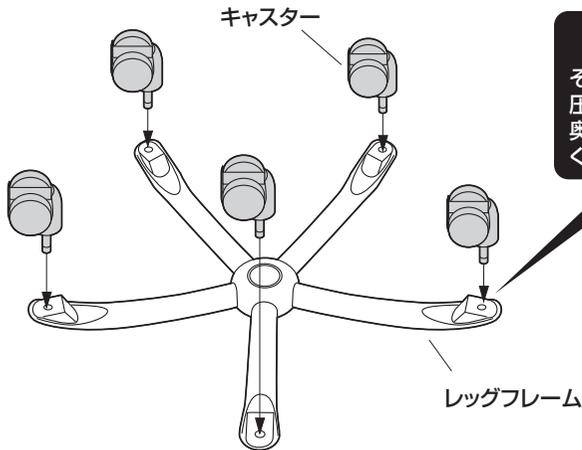


ボルトA×2本 (M8×25)



ボルトB×4本 (M6×40)

1 レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。



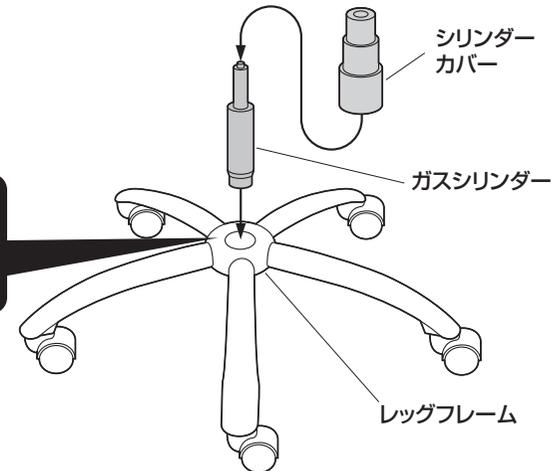
▲ 注意 ▲

それぞれのキャスターは全て
圧入式です。(手ではめこむ)
奥までしっかりと差し込んで
ください。

2 レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。

▲ 注意 ▲

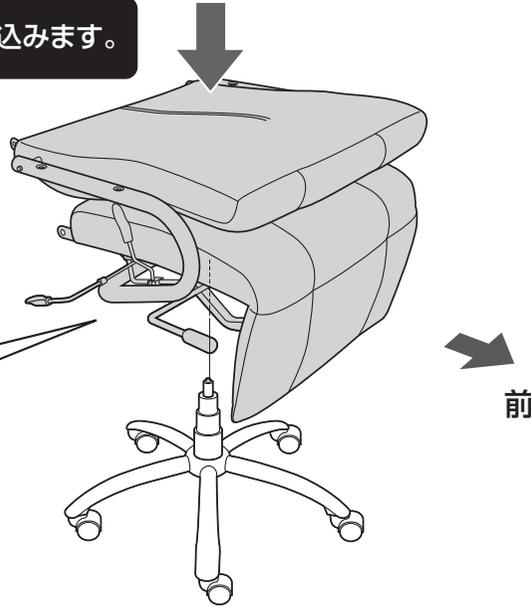
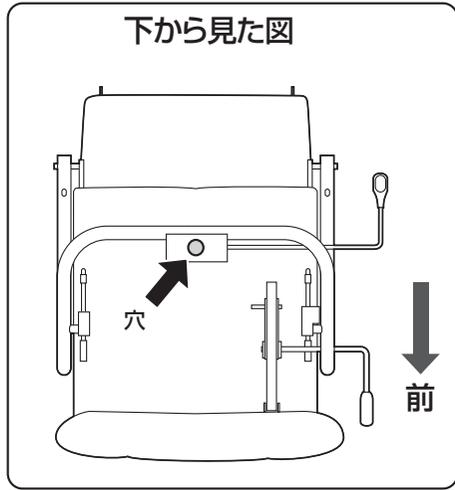
ガスシリンダーが後
で抜ける事の無い様
に、押し込みます。



3

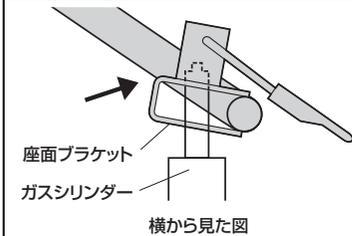
ガスシリンダーにチェア本体を差し込みます。

体重をかけて押し込みます。

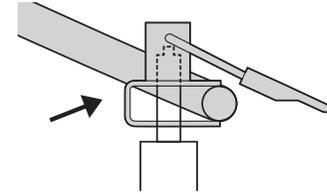


▲注意▲

チェア本体をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。チェア本体がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



ななめに差し込まれている



まっすぐ奥まで差し込まれている

4

背もたれと座面を固定します。

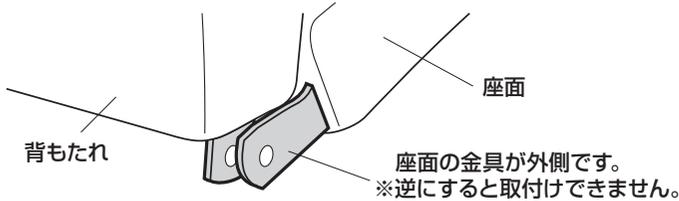
① 背もたれを起こします。



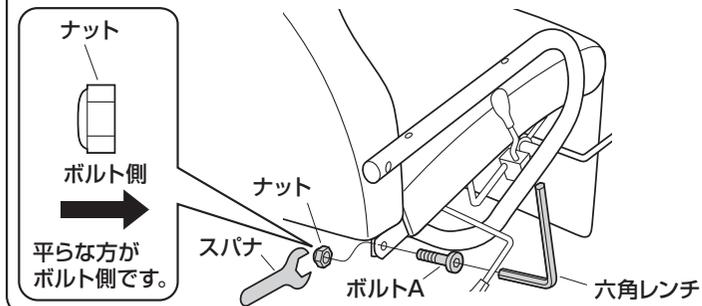
▲注意▲
可動部分で指などは
はさまないように
十分ご注意ください。

② 座面と背もたれをボルト・ナットで固定します。

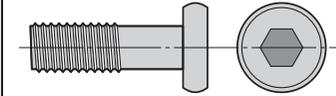
背もたれと座面の金具のねじ穴を合わせます。



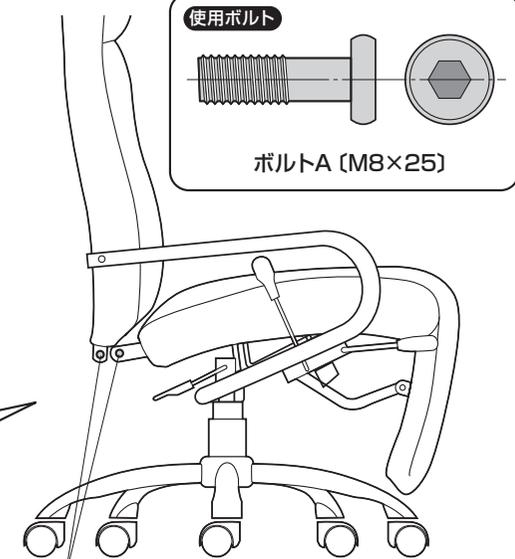
ボルトとナットで固定します。



使用ボルト



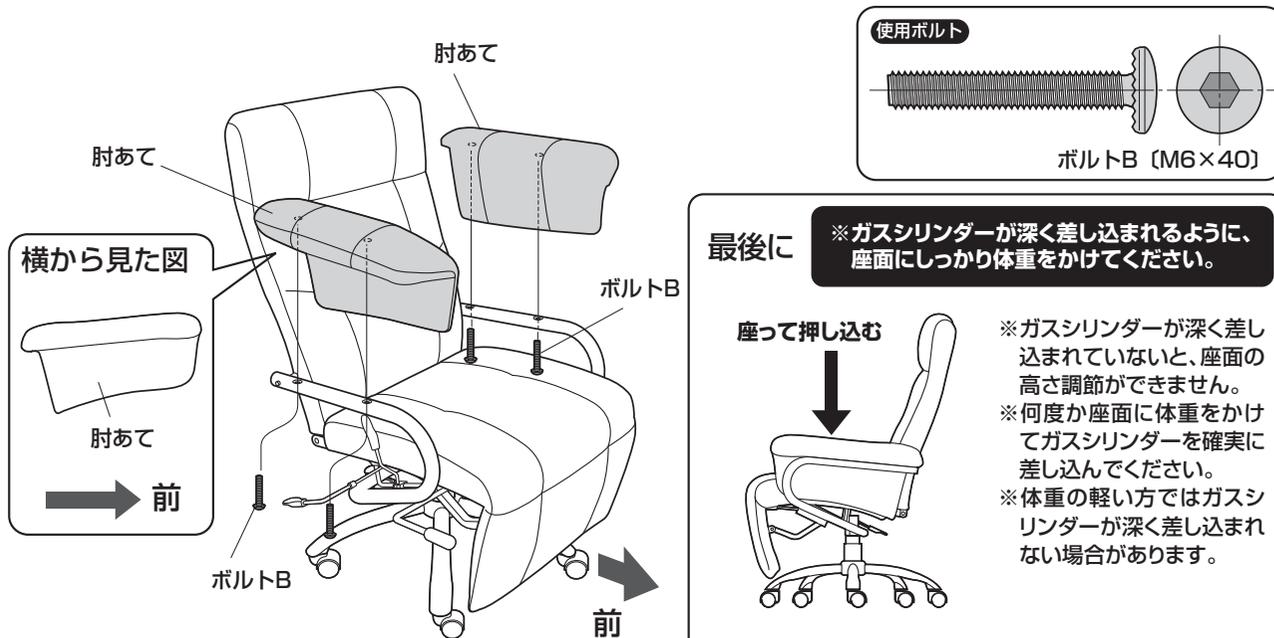
ボルトA (M8×25)



2つの穴位置を合わせてボルト・ナットで固定します。

5

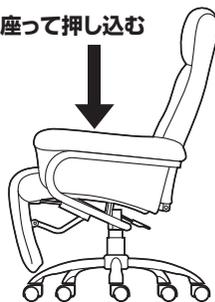
肘あてを取付けて完成です。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
 ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
 ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

チェアの品質表示

外形寸法：幅780×奥行750～1280×高さ1110～1170mm（座面高さ480～540mm）
 構造部材：座部・背もたれ部・肘あて部/合板 脚部/スチール キャスター/ナイロン
 張り材：PULゼー ムッシュファブリック
 クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

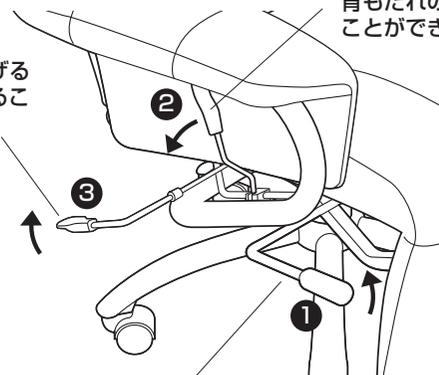
- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

座面の調節方法

▲ 注意 ▲

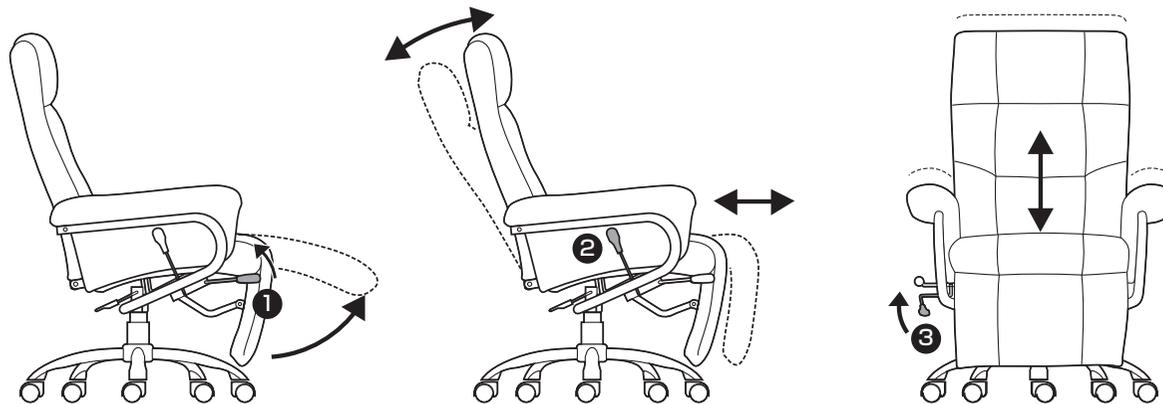
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

③のレバーを引き上げると座面の高さを変えることができます。



①のレバーを引き上げると
 オットマンが持ち上がります。

②のレバーを外側に倒すと
 背もたれの角度を変える
 ことができます。



キャスターは着席時にロックがかかり、
 移動できなくなります。移動させる際は
 チェアに座らない状態で行ってください。